

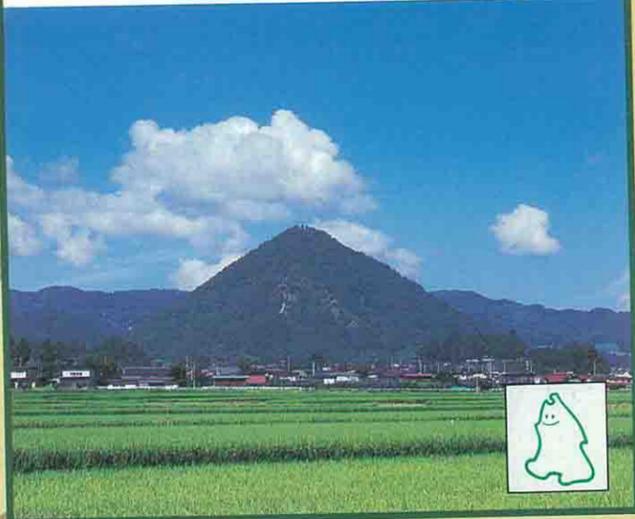
NEW OKUNO HOSOMICHI・YAMAGATA
新・奥の細道

山形西ルート

⑦

古墳と古戦場をたどるみち

Kohun-to-kosenjo-o-tadoru-michi



山形県

周辺の
アクセス
ガイド

・JR山形駅からバス又は車で20分。
・山王(新道)バス停までは
・JR山形駅からバス又は車で30分。
・松原(南山形公民館前)バス停までは



観光・宿泊のお問合せ	山形市観光協会 〒990 山形市旅籠町2-3-25	☎0236-41-1112
交通のお問合せ	山形交通バス案内センター 〒990 山形市香澄町3-2-1	☎0236-32-7272
コースのお問合せ	山形市観光物産課 〒990 山形市旅籠町3-2-5	☎0236-41-1212
	山形県環境保護課 〒990 山形市松波2-8-1	☎0236-30-2207

表紙の写真は、富神山。

みどころ案内
GUIDE

富神山

Togamiyama

山頂からは山形市街や蔵王連峰の山並みが一望できます。出羽合戦の際、この辺り帯は最上軍と上杉軍の壮絶な戦いの場となりました。上杉軍が山頂から山形城の様子を見ようとしたが霞がかかって見えなかったというエピソードから、山形城には「霞ヶ城」という名前が付けられたと言われています。また、その正三角形の山容から、信仰の山として、またシンボリックな存在として親しまれています。

※出羽合戦—
関ヶ原の戦い(1600)と時を同じくし、最上が徳川方、上杉が石田方につき行った合戦。



▲富神山山頂からの展望
左手中頃に見える森が霞城公園(山形城跡)
▲富神山山頂

菅沢古墳群

Sugesawa-kohun-gun

5～6世紀の造営と考えられる古墳群で山形市の史跡に指定されています。特に二号墳(県指定史跡)は底径約50m、高さ約5mで山形県内では最大、東北地方でも最大級の円墳です。周辺には単鳳式環頭太刀を出土した大之越古墳や谷柏古墳群などがあり、古から文化が発展していたと考えられます。



菅沢古墳群

尚古館

Shokokan

明円寺の境内にある民俗資料館です。地元で発掘された土器・石器や民具などかつての農民の生活文化を物語る資料が展示されています。入場料無料。



尚古館

長谷堂城址

Hasedo-joshi

誰が、いつ頃、どのような城を築いたのかははっきりしていませんが、山形の街を守る重要な軍事的拠点として整備されていたことは、この山に登って佇んでみるだけで誰の目にもはっきりとわかります。高さ85mの山頂に登るまでの数段にも重なる曲輪やほぼ原形をとどめる空濠などの遺構を見れば、そこにまぎれもない築城の営みを感じ取ることができるはず。曲輪—城などの周囲に土や石で築いたかこい。



津金沢の大杉

Tsuganesawa-no-osugi



熊野神社の鳥居をくぐり参道の石段を登ると、しめ縄の張られた大杉がそびえ立ちます。昔から神木としてあがめられ、隣にもう一株の老杉があり、ともに雌杉・雄杉と讃えられていました。ある日その一本を切り倒したところ、村内に病が大流行したため、碑を建てて供養を行ったと言われます。境内に弘化2年(1845)建立の「大杉大明神」の碑が残っています。根回り9.3m、幹回り8.8m。5本の幹が並立直上して高さ33mにもおよびます。

柏木山古戦場(愛染神社)

Kashiwagi-yama-kosenjo
"Aisen-jinja"

田園風景の中の樹林におおわれた小高い丘が愛染神社です。昔の羽州街道沿いにあったため、旅人の安全を守る養の神がまつられており、俗に「オサヤジ」とも呼ばれています。

神社の境内には桜(エドヒガン)の古木があり、樹齢は600年を越え、幹は二つに割れ、内部は空洞となっているが、樹勢旺盛で春には見事な花を咲かせます。

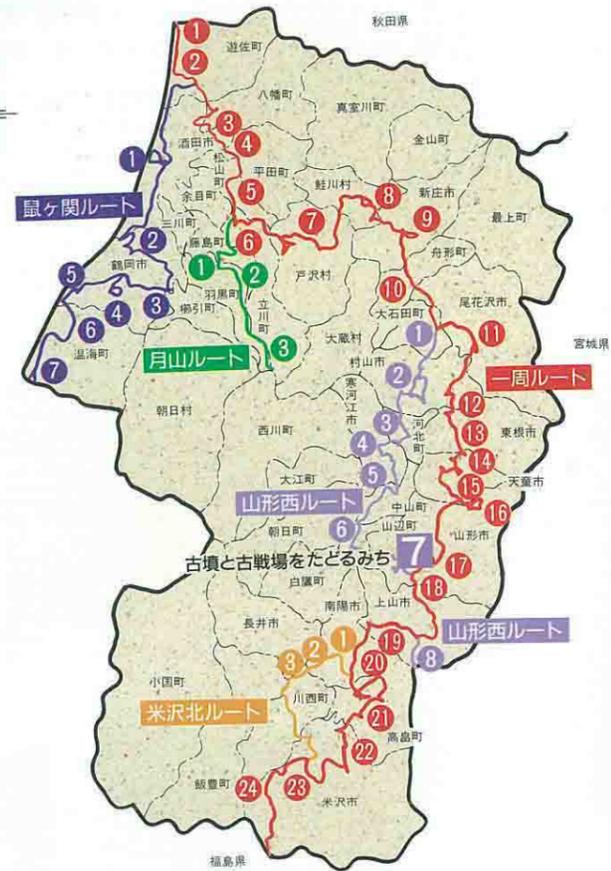
古戦場はこの神社の南方で、天正12年(1584)、山形城主最上義光と仲の悪かった上山城主が伊達軍の手引きをして山形城を攻めようとしたが、最上軍の鉄砲隊に敗れ、上山に退散したと言う記録が残っています。(上山軍と最上軍の戦が何度となく行われたと考えられます。)



柏木山古戦場(愛染神社)

YAMAGATA MAP

東北自然歩道(新・奥の細道)ルート図



"新・奥の細道"とは

自分の足でゆっくり歩きながら、森や川、野鳥や虫など豊かな自然にふれあい、また、その地域の特徴ある文化や歴史と親しむためのみちです。

"新・奥の細道"は正式には東北自然歩道といえます。この自然歩道は、一日で歩ける程度の遊歩道を1つのコースとして、コースの間をバスなどでつなぎながら東北を一周する長距離自然歩道です。そして、この道は福島県白河を起点とし、宮城、岩手、青森、秋田、山形の順で経由して福島県郡山に至るルートになっています。

また、この"新・奥の細道"は東北を一周するルートの他に、景観の優れた地域や名勝地等に向かうルートがあります。県内でも、月山ルート・鼠ヶ関ルートなど4つのルートがあり、山形県内のルートをおあわせた総延長は45コースで469kmとなっています。

この"新・奥の細道"を楽しむために

1. コースのみどころ、地形、距離をあらかじめ調べて、余裕のある日程を組みましょう。
 2. 歩きやすい服装で、荷物は最小限にとどめましょう。
 3. 天気予報に注意して、天気のいい日を選んでゆっくり歩きましょう。
- この3つを守り、友人と、家族と、さあ出発!

おねがい

- ・ゴミは捨てないで持ち帰りましょう。
- ・たばこの投げ捨てや、山火事には十分注意しましょう。
- ・案内板や休憩所はみんなのもので、大切にしましょう。
- ・美しい自然は、人間だけのものではありません。草花や虫たち、小鳥たちのためにも自然を汚さないようにしましょう。
- ・そして、美しい自然を後世まで伝えていきましょう。

このみちは、年金積立金元還元融資を受けてつくられました。